

平成 31 年度 第 3 回学校運営協議会 議事録

令和 2 年 2 月 17 日 (水) 15 : 30 ~ 於 : 校長室

司会 : 教頭 富山 一紀

記録 横関 美穂

1. 校長挨拶

2. 委員紹介・出欠確認

甲斐 淳志郎 氏 欠席

3. 資料確認

- ・令和元年度 第 3 回学校運営協議会 次第
- ・『学校新聞 芥川』 274 号
- ・平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価
- ・令和 2 年度 学校経営計画及び学校評価
- ・進路指導部 資料
- ・学校教育自己診断・集計報告
- ・学校教育自己診断の結果について 各分掌・学年での検討
- ・授業アンケート集計結果
- ・オーストラリア語学研修について

4. 協議 司会 : 相川 真佐夫 氏

(1) 学校の様子 (藤原 啓明 首席より)

資料 : 「学校新聞 芥川」 274 号

第 2 学年台湾修学旅行 アンケート結果「よかった」が 98%。

台湾の学校との交流は生徒たちにとって大変良い経験となった。

今年度末までに 275 号・276 号の発行を予定している。次号は卒業式の報告。

(2) 平成 31 年度学校経営計画にもとづく取り組みの学校による自己評価 (門田 浩一 校長より)

資料 : 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

① 学校教育自己診断の結果と分析 (令和元年 1 2 月実施分)

【全般】

- ・「本校に入学してよかった」(生徒) の肯定率 87% 「入学させてよかった」(保護者) の肯定率 92%。大変喜ばしい。
- ・「悩みなどを気軽に相談できる先生がいる」(生徒) の肯定率は 57%。昨年より向上しているが、より一層生徒に寄り添った指導が必要である。

【学習指導等】

- ・「授業の満足度」に対する質問では生徒 72%、保護者 74% が肯定的な回答。授業満足度が上昇している点は良かった。
- 一方、教員向けの「わかりやすい授業をするために工夫を積極的に行っている学校である」との質問に対する肯定率は 77%。三者の間に若干の差がある。教員が取り組んでいる授業改善への取り組みを今後も継続していきたい。

【生徒指導等】

- ・「校則を守っている」の肯定率は生徒が 93%、保護者が 92%であり、落ち着いた学習環境を維持できている。

②本年度の取組内容及び自己評価より

【学力の向上】

- ・教科指導への肯定率 72.4%。昨年よりも、9.1%向上している。今後も授業力強化月間や研修を実施していきたい。
- ・生徒の求めるレベルと教員の求めるレベルに差を感じる。生徒は学力現状維持。教員は上昇させることを希望している。

【使える英語力の育成】

- ・第3回の英語検定受験者の増加。資格取得者の増加が期待できる。結果待ち。

【生徒の育成】

- ・懲戒件数の増加。多くは SNS に関するものであった。来年度は情報のモラルに関する指導を強化していきたい。
- ・遅刻数が減少した。来年度もきめ細かい指導を行う。

【信頼される学校づくり】

- ・家庭への情報提供に関する肯定率は 82.7%と昨年 84.3%より若干下がっている。学校ホームページや校長ブログを使った情報提供を行っていきたい。

☆意見・質疑応答

- ・来年度は遅刻数を評価指標にいれてはどうか。
- ・授業中や休み時間のスマホのルールはどうなっているのか。他の学校はどうか。
→朝の SHR から帰りの HR まで、使用を禁止している。
休み時間は使用できるなど、学校によって少しずつルールは違う。

(3) 進路指導部より (辻 麻衣子 進路指導主事より)

資料：進路指導部 資料

①38 期生 推薦入試合否状況

【大学】昨年より合格者は増加している。昨年倍率の高かった大学は受験者が減少。一方、昨年倍率が低かった大学への受験者が増えている。全体的に安定志向になっている。

【短大】例年並み

【専門学校】やや増加。

【看護】大学希望者増加。

②38 期生「進路指導アンケート」まとめ 2/5 実施

設問 4、進路先決定のきっかけ

体験入学 10%

オープンキャンパスや郊外での説明会・応募前職場見学 47.8%。

設問 10、いつから受験勉強や就職対策を始めたか。

3 年春の回答が最も高く 51.3%。昨年は 41.5%。生徒のやる気を早期に高めることができる。一方、一般入試まで頑張る生徒が減った。

設問 23・24、進路決定までの受験回数は

平均 4.9 回。昨年は 5.9 回。公募制推薦が増えた。

設問 42、受験科目として、学科試験以外に受けたものは

面接 47.7%。小論文 13.5%。

昨年より 10%～15%増加している。

設問 44、自らの進路希望実現に向けた家庭は満足できるものか。

81.8%が肯定。満足度は高い。

☆意見・質疑応答

- ・先輩の声は生徒にとって貴重。いつから勉強を始めた、使った参考書、合格体験記などを話してもらおう。先輩の話聞く機会はあるのか。
→1年の学年末考査後に聞く機会がある。
- ・他高校では、2年の冬休みに進路についての課題を出している。保護者と進路について話し合っ
て、レポートを提出。メリットとして、進路決定の時期を早めることができる。

③38期生「進路指導に関するアンケート」まとめ

1、ネット出願の際に困ったこと

生徒が使えるパソコン設備やネット環境が進路指導室にない。

スマホでできるが、プリンターが家にないため、印刷ができない。

2、学校の資料室があればよいと思う資料・冊子。

過去問赤本が欲しいという生徒が多数。お金の出どころの確保が課題。

(4) 令和元年度 授業アンケート報告 (門田 浩一 校長より)

資料：授業アンケート集計結果

生徒・保護者ともに評価が上昇している。教員評価と生徒の評価との差がある。

生徒の意識・やる気はもう少しほしい。

☆意見・質疑応答

- ・アンケート集計結果 第1回目より2回目のほうが評価上昇している。なぜか。
→生徒の自由記述の意見を各教員が取り入れ、改善している点が、好評価につながっていると思われ
れる。
- ・保育園に実習に来ている芥川の生徒のやる気が7・8年前の生徒と比べると高いように感じる。
→キャリア教育の成果が考えられる。就職率の上昇も影響している。

(5) 令和元年度 学校教育自己診断報告 (藤原 啓明 首席、富山 一紀 教頭より)

資料：学校教育自己診断・集計報告

学校教育自己診断の結果について 各分掌・学年での検討

①校内での盗難について、対策の提案

防犯カメラの設置、全校集会・学年集会の実施、警察連携

②授業・教科指導について満足度向上について意見

ICT設備の充実

③進路指導充実に向けての意見

生徒が進路調べに使えるパソコンがない。

④その他

すぐに改善できるものと金銭面で難しいものがある。今後検討の必要あり。

(6) 令和2年度 学校経営計画案について (門田 浩一 校長より)

資料：令和2年度 学校経営計画及び学校評価

全体としては、今年度からの大きな変更はなし。

規範意識に関して、スマホ・情報モラルについての記述を追加。

自己診断で肯定的な回答が8割を超えるものが多いので、これを維持していく。

☆意見・質疑応答

- ・遅刻件数を評価指標に追加しては。
- ・前任通りの計画案のため、現校長らしい計画案が欲しい。

◎全体として、案の通りで承認。

(7) その他

- ・保護者からの意見書について
提出なし
- ・オーストラリア語学研修について報告、生徒感想の紹介
資料：オーストラリア語学研修について

5. 校長謝辞

6. 連絡

- ・次年度委員委嘱について 後日連絡。
- ・議事録の公開について 回覧後、学校ホームページに掲載する。